

専門学校 日産横浜自動車大学校

〒241-0014 神奈川県横浜市旭区市沢町910 TEL.045-371-2990
●編集責任者 橋本恭子 令和5年12月11日発行



日産自動車 大学校公式 facebook
<https://ja-jp.facebook.com/nissanyokohama>



日産横浜自動車大学校は、NISSANの自動車整備士養成の整備専門学校です。

4年ぶりだよ 学園祭

10月28日に学園祭が開催されました。4月に実行委員を募り「みんなで創る学園祭」をテーマに準備を進めてきました。4年ぶりの開催で経験もおらず不安の中で当日を迎えましたが、多くのお客様が来場し、大盛況のなかで幕を閉じました。今回得られた達成感を、次年度以降に繋げていってほしいと思います。

2023年度はイベント復活!! ワクワク、楽しいが盛りだくさん!



2年生 国内研修

10月30日～11月1日に2年生は、国内研修で福岡県の博多・北九州に行ってきました。日産自動車九州工場では、車両製造工場の見学を通して車が生産される工程を理解し知見を深めました。日本製鉄九州製鉄所では、原料を溶かして鉄銹を造る高炉工場の見学や真っ赤に熱した鉄の塊(鋼片)を薄く延ばす圧延工場を見学して車には欠かせない鉄の製造方法を学びました。自動車業界や日産に関する理解が深まったと思います。また、特別受験合格祈願大祭の期間でもあった大宰府天満宮で、来年3月の国家二級整備士試験の全員合格に向けて気を引き締めてきました。



4年生 国内研修

10月13日～15日に4年生48名が国内研修として名古屋へ行って来ました。「広い視野で自動車業界事情を知る。」「自ら見聞することを通してホスピタリティ感覚を養う。」「ことなどを目的に、名古屋城、トヨタ産業技術記念館、トヨタ博物館を見学してきました。



私たち4年生は名古屋へ国内研修に行き、トヨタ産業技術記念館やトヨタ博物館、名古屋城などを見学しました。中でもトヨタ産業技術記念館では、数々の織機から、何度も改良を重ねて進化していく様子が伺え、当時の技術革新や精巧な機器に感銘を受け、常に目標を目指して努力し続ける大切さを改めて感じる事が出来ました。私も努力と改良を積み重ねて国家試験の勉強や入社後の仕事に取り組んで行こうと思います。

一級自動車工学科 4年F1組 岩佐 理央



23年度は

4月

がんばってください！

ありがとうございます！がんばります！

在校生から実習服の受け渡し

4月6日 入学式

工学科2クラス、整備科2クラスの計114人、日本全国から整備士を目指す若者が、入学しました。

あたたかく見守る1年生の先生方

5月20日 2年 GRANDRIVE 体験試乗授業

日産自動車追浜工場隣接のテストコースである「日産グランドライブ」で5月20日に体験試乗授業を行いました。EVやe-POWERの静粛性や加速力、日産の先進技術を搭載したクルマの操縦安定性、走行性など体感。GT-Rの圧倒的な加速と音を自らの運転で体験、日頃の授業とは一味違う刺激的な機会となる特別な授業です。

4月9日・10日 3年 4年 合宿研修

4月9日・10日に3・4年生は静岡県御殿場市にある国立中央青少年交流の家で合宿研修を実施しました。内定および就職に向けての人間力向上と国家一級試験合格に向けて年間計画を策定と野外炊飯をおこないました。

5月 5月7日 横浜F・マリノス戦@NISSANスタジアム 観戦ツアー

5月7日に学生18名とサッカー観戦に行きました！どしゃ降りの雨でしたが、普段は見えないスタジアムツアーもあり、お揃いサポーターTシャツを着て応援しました！そして試合は圧勝！大興奮の1日でした。狙い通り、皆の「日産愛」増えたかな～？

6月

合宿研修では「人間力を高めて企業から選ばれる人材になるには」という議題のもと討議が行われました。私は進行役を務め、班員の意見をまとめて行く中で自分達に足りないものが見えてきました。そして「明確な目標を立て計画的に実行する」を念頭に日々の学校生活を過ごして行くことで意見がまとまりました。結論に行き着く中で班員がお互いの意見を尊重し合い類似点を見つけ、更に深掘りしていくことで協調性などの大切さも理解できました。この方策をもとに3年生を爽りのある飛躍の年にしたいと決意しました。

合宿研修では主にグループ討議、3年生とのカレー作りを行いました。カレー作りは3、4年生合同で、ほぼ初対面で学年の壁を越えた活動でしたが、無事に美味しく作ることができ、協調性を高めることが出来ました。グループ討議では短期間でグループワークを行うことで、3年間にした仲間と更にチームワークを高めることが出来ました。合宿研修は、普段の環境とは異なる場所で新たに学ぶ事に向けての集中力を高めることが出来る貴重な機会です。合宿で学んだことを活かし、必ずクラス全員で国家試験に合格したいです。

一級自動車工学科 3年F1組 小澤 優輝

一級自動車工学科 4年F2組 佐藤 健大

5月25日▶28日 スーパー耐久

5月25日～28日にスーパー耐久シリーズ2023 第2戦 富士24hレースにNISSAN MECHANIC CHALLENGEとして学生34名が今回のレースに参加しました。もっと車を好きに、プロ意識の醸成、チームワーク、チャレンジする気持ちなどを醸成するために毎年継続しています。

この日産メカニックチャレンジでは、ビットでレース車両の整備をするテクニカル領域と、お客様対応を学ぶホスピタリティエリアに分かれて活動しています。今回の活動はビットエリアとホスピタリティエリアのローテーション方式が復活し、全員がそれぞれの活動で学ぶことができました。私たちがそこで学んだ事は、24時間レースの厳しさとその困難に立ち向かうチームのプロフェッショナルたちの熱い姿です。この活動を通して私たちはプロの整備士になる為に更なるレベルアップをしていきます。

6月1日 1年 青山授業

入学から2ヶ月目の6月1日、NBCホールにて紳士服の青山の方を講師として迎え、1年生全員対象のスーツについての大人としての着こなし、就職活動に向けての身嗜みを目的とした講義を行いました。真剣に楽しく全員が学ぶことができました。

4月10日・11日 1年 合宿研修

静岡県御殿場市の国立中央青少年交流の家で一泊二日の合宿研修を行いました。目的は、「人間力の向上」についての討議を通じ、集団行動の大切さと難しさ、チームワークの必要性に気付くこと。そして色々な行動を通して、達成感を感じ、これからの学校生活に活かすことです。

合宿研修では、初めて会うクラスメイトと挨拶行動練習を行い、大変良い経験が出来ました。最初は全く揃わなかったお辞儀やバラバラだった行動練習。他クラスの完成度がとても高く、私達が勝てるのかとても不安の中、夜のミーティングで自己紹介や作戦会議を行いクラスの雰囲気がとても明るくなり、次の日は諦めず何回もチャレンジをしました。その結果1位を取る事が出来、頑張った良かったと感じ、最高のスタートを切れました。

一級自動車工学科 1年F2組 関 藍斗



学生からのメッセージ

「横浜校に入学しての感想と今後の意気込み」

一級自動車工学科 1年F1組 児玉 惟月

私が入学して感じたことは、先生たちとのコミュニケーションが取りやすく親しみやすい所です。分からないことは理解出来るまで丁寧に教えてくれたり、休み時間では気軽に話しかけてくれて、カスタムのプチ知識を教えてくれたり、とても楽しい毎日を送っています。今後の意気込みは、もっと自動車に詳しくなり、オープンキャンパスのインストラクターとして分かりやすく教えられるようになり、より良いお客様対応が出来るようになっていきます。また、わからない友人にも説明できるようにし、共に勉学に励めます。

「オープンキャンパスインストラクターを経験して」

一級自動車工学科 2年F1組 谷岡 陸叶

私は元々どちらかというと受け身な人間でした。ですがオープンキャンパスのインストラクターをしていく内に、初対面の方にも話しかけていけるようになりました。又、何を準備しなければいけないのか、何が足りないのかを見つける力がつきました。このような将来に繋がるコミュニケーション力や対応力の向上がインストラクターをする強みだと思います。最近では、参加して下さる学生、保護者の方々の入学前後の不安を聞くなど、学校についての説明だけでなく、各々のニーズに出来るだけ答えられる様にしています。

「モータースポーツ科に進学して楽しいこと」

モータースポーツ科 1年 福田 一雄

モータースポーツ科は進級までに学んだ内容をベースに、チューニングカーやカートなど+αの勉強ができます。それは今まで以上にクルマへの好奇心や可能性を感じる内容でした。自分たちが整備した車がサーキットを走るのはプレッシャーもありますが、難しい作業の後に良いパフォーマンスを発揮すると自分たちも嬉しくなることに気づきました。他にも日産のヘリテージ車両が走行している横でのテスト走行や、ニスモファクトリーでの授業などは横浜校ならではの魅力だと思います。

行事復活!

7月19日・20日 **3年**

安全運転講習

7月19日・20日に「公道・校内にて体験できない自動車の各装置の作動を体感する。」「安全運転の理論・技術を学び自動車の業界人としての素養を養う。」を目的として、トヨタ交通安全センター モビリティにて、安全運転講習を行いました。



安全運転講習を受講して
一級自動車工学科 3年F2組 伴 涼介

この講習を受講したことで安全運転は基本が大事だと学びました。車の死角を子供用自転車やボールで確認して、全く見えない位置が多いことに驚愕しました。高速フルブレーキングや低ミュー路ブレーキングでは、想像よりも車は良く止まるが、恐怖で冷静さが欠けて体が硬直し、反応が遅れてしまうと感じました。安全運転には周囲の把握と思いやりが事故を防ぐことを再確認しました。学んだことを実践して、安全運転を心がけます。



7月7日 **1年**

販売会社見学

7月7日、猛暑の中、クラス毎に販売会社の店舗に訪問し、日産販売会社の1日の仕事、工場での作業、ショールームについて見学しました。販売会社見学は、横浜校の学生育成(就職意識の醸成及び将来像のイメージ)を目的に例年実施している研修で、本校学生としての、販売会社とのファーストコンタクトとなる大変重要な課外授業となります。卒業生への質疑応答では、質問が途切れることが無く、時間切れとなってしまいましたが、「学校で学んでおくべき事」や「整備士として大切な事」など積極的に質問をし、今まで知らなかった仕事の理解を深めました。



7月15日 **1年**

授業参観

7月15日に、1年生の授業参観を実施しました。コロナにより中止となっておりましたが、横浜校恒例行事であります「授業参観」を4年ぶりに開催する事が出来、たくさんの保護者の方にご参加いただく事が出来ました! 保護者の方も「ツナギを着た黒々しい姿に」「挨拶練習での真剣な表情に」「実習作業に打込む真直ぐな眼差しに」普段は中々見る事の出来ないお子様の姿をみて、感激されていました。



8月5日・6日

スーパーGT

5月の24時間スーパー耐久レースに続き、今年2回目の富士スピードウェイでスーパーGTに参戦。

横浜校のレース参戦方式は、参加学生全員がPITサポートとVIP対応を体験する独自のローテーション方式。黒のポロシャツユニフォームからつなぎに着替え、3階クリスタルテラスのVIP対応から1階のPITサポートに走る。参加者全員が等しく全てのエリアを体験するという欲張りプログラム。ローテーションは複雑だが、そのコントロールは学生リーダーと各チームの班長。インカムを使ってクリスタルテラスとPITの間で盛んに情報交換が行われる。状況に応じた判断はリーダーと班長に任せている。緊張感と責任感の中にも学生の顔には充実感がみなぎっていた。今回参加の学生16名には富士スピードウェイ・近藤レーシングの配慮で特別なプログラムも用意された。普通は入ることのできないコントロールタワー内の見学では管制室の中で学生からの質問が飛び交う。マスコミ陣が大挙する大部屋ではその活気に圧倒された。YOKOHAMAタイヤ見学では学生が代わる代わるレーシングタイヤの持ち上げにチャレンジ。準備日の最後は新型フェアレディZなどに分乗しての本コース同乗体験に歓声をあげた。通常では決して経験できないプログラムに参加学生の満足度も最高潮に達した。より多くの学生に体験してもらうことを念頭に、今回参加の半分は4月に入学したばかりの1年生。初日は何をしたいのか手持無沙汰だった1年生も2日目には見違えるように自分で判断して動いていた。彼らにとってはとても大きな体験になったに違いない。



レースの活動について参加して

自動車整備科 1年組 金子 良太



私は、SGTで活躍をしている日産メカニックチャレンジの活動を入学前から知っており、参加をしたいと思っていました。その思いが通り、今年念願のレース活動へスタッフとして参加させてもらうことができました。準備から学生同士で話し合い、事前にSGTの情報を調べて共有、レース初日を迎えました。富士スピードウェイのピットでは、「KONDO Racing Team」と日産メカニックの方々がレースに勝つためにドライバーと細かい打ち合わせをして熱心に作業をする姿が印象的でした。そのような方々と一緒に活動ができたことが何よりも素晴らしい体験となりました。この度は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



8月6日、集合時は雨でしたが、富士スピードウェイに到着後の決勝スタート時には、雨もやみ、1年生全員でメインスタンドで応援。普段体験できないレース場の雰囲気と緊張感、楽しさを体全体で感じて、改めて自動車の楽しさを知ってもらいました。

富士スピードウェイに応援に行って

自動車整備科 1年4組 佐藤 亮太



サーキット場でのレース観戦は初めてで、テレビと違い、レースカーが横切るときのスピード感や迫力のあるエンジン音など、現地では味わえない貴重な体験でした。また、レースカーがピットインしたときにピットクルーの方々が息を合わせて給油やタイヤ交換、ドライバーを素早く入れ替えていて、日頃から練習して時間を短くしようと、とても凄いなと感じることが出来ました。これを機にレースに興味を持つことが出来ました。

8月



「放送大学の併修制度をして良かったこと」

一級自動車工学科 3年F2組 古川 飛羽



一級整備士資格と放送大学卒業資格を取得することで、卒業後の進路について、選択肢が増えることが一番のメリットだと思っています。私は、一般教養だけでなく環境問題や統計学などの幅広く専門的な知識を学ぶことができるため、放送大学の併修制度を利用しています。横浜校の履修試験と放送大学の単位認定試験が重なった時に勉強する量がとても多く大変でしたが、今後の人生においてプラスだと感じています。色々なことを考えても、併修制度を利用して良かったと強く思います。

「日産自動車株式会社に就職が決まりました」

一級自動車工学科 4年F2組 矢嶋 佑紀



就職活動では、先生方にエントリーシートの添削や自己紹介のプレゼン資料の作成にご助力頂き、不備なく進むことができました。面接はオンラインで行うことが多くありましたが、教室などを貸して頂き、安心して行うことが出来ました。販売会社と併修して活動していた為、約半年程を学業と並行して行うのが大変でしたが、4年間の努力を評価され、希望の会社に勤めることができ、大変嬉しかったです。

「神奈川日産自動車株式会社に就職が決まりました」

一級自動車工学科 4年F1組 比留間 諒



学校の先生と外部講師の先生が、相談や面接練習など親身になって私たちに寄り添って支えて頂きました。私は就職活動で身だしなみ、言葉遣いなどを気にするようにしました。特に身だしなみは第一印象に影響するため日頃から鏡などを見て確認するように心がけていました。今回内定をいただき意欲に湧いており、入社までにインターンシップで学び、気がついた今の自分に必要なことを意識して一層努力してまいります。

国内唯一!モータースポーツ科! モータースポーツ科の活動紹介!



GTチャンピオン経験もある
NISMO影山ドライバーに
よるレッスン

整備パフォーマンスが
そのまま反映されるカート授業
ちゃんと整備できないと
リタイヤも?!

横浜校の上級課程「モータースポーツ科(以下MS科)」,その活動内容についてご紹介いたします。

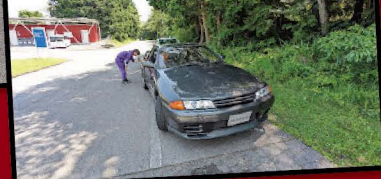
本科は、日産メーカー校としてNISMO全面サポートによる実習中心のカリキュラム構成で、「クルマの魅力を再認識」、「クルマに対する深い知識・技術の体得」、「タブな人財の育成」。以上をポリシーとして、社会性と安全性を考慮し、自らの経験談としてお客様へのさらなる提案力を身につけます。

授業では教材車のフェアレディZ(Z33ver.NISMO)を用い1年間をかけて段階的なチューニングを施していきます。そこでは整備科、工学科で学んだ知識・技術を余すことなく発揮してサーキット走行ができる車両に仕上げます。また、比較走行での運転スキル向上のため、プロドライバーによるドライビングレッスンやレーシングカートでの走行も行います。その他S15のリフレッシュ整備など、まだまだお伝えしきれない活動も多々行っていますので、詳しくは横浜校のHPからFacebookまたはInstagramをご覧ください。

国内Aライセンスを取得し、
富士SPWなどで走行!



フェアレディZを使って、
カスタマイズのビフォーアフターでの
車のパフォーマンスを体感



❖ 軟式野球部

❖ サッカー部

❖ バドミントン部

❖ バスケット部

❖ ラジコン部

❖ 自転車部

❖ エコラン部の活動報告



クラブ紹介



6月3日にツインリンクもてぎにて開催されたエコマイレージカップもてぎ大会のグループⅢと二輪車クラスに出場してきました。

結果は…**グループⅢはなんと優勝!! [485.772km/l]**
二輪車クラスは第4位でした。[158.343km/l]
同じく大会に出場していた**栃木校エコラン部**は、グループⅢは第3位、**二輪車クラスは昨年に続いての優勝でした!**
表彰式では「日産自動車大学校って結構スゴイ学校なんじゃないの?」という周囲の空気をかなり大きく感じる結果となりました。

主催者の配慮でピットは毎年栃木校と隣同士になっており、エコランやその他の事についても色々な情報交換で交流をする事ができ、顧問としても学生としても有意義な一日となりました。



9月9日・10日、エコラン部 学生7名、教員4名にて「エコマイレージチャレンジ2023 第42回 全国大会」に参加しました。横浜校からは2台エントリーし、以下の結果となりました。
◎**大学 短大 高専 専門学校クラス(42台) 9位 491.136km/l**
◎**二輪車クラス(34台) タイムオーバー 186.365km/l**
(規定時間完走なら6位相当)

❖ カート部の活動報告



8月19日に千葉県袖ケ浦で開催されたスポーツカート3時間耐久戦に参加しました。
朝から曇一つない茹だるような灼熱のサーキットで、計11台のエントリーにより始まったレースは、MS科を含む10台が順調に周回を重ねる中、何度かのスピンやコースアウトによって、駆動するチェーンが外れてしまうなどカート部だけが唯一一周遅れになっていく展開でした。トラブル対応と酷暑で疲弊していく学生達ですが、先生に準備していただいた冷え冷えのドリンクにいかされながらなんとか挽回を試みたのですが、悲運のエンジントラブルにて3時間完走には至りませんでした。(MS科は初参戦で見事完走です。)

横浜校のオープンキャンパスに行ってみよう! オープンキャンパス開催中!

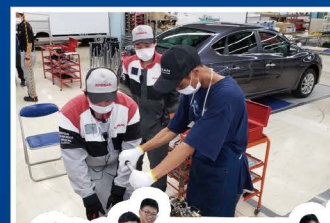
2023年度も横浜校では、オープンキャンパスを開催しています!通常の体験実習ができるオープンキャンパスの他、スペシャルイベントもたくさん開催します。ぜひ横浜校のオープンキャンパスに参加してください。

開催日 1/20(土)・2/3(土)・2/17(土)・3/2(土)・3/22(金)・3/23(土)

- 楽しい内容盛りだくさんです。
- ❖ 1月 ★日産メカニック(整備士)横浜校OBスペシャルイベント
 - ❖ 2月 ★一級自動車工学科の授業体験
 - ❖ 3月 ★モータースポーツ科体験 ★GRANDRIVE(グランドライブ)ワクワク同乗体験会

通常コース 学校説明、入試説明、施設見学、学食体験の無料ランチ付、体験実習

ショートコース 学校説明、入試説明、施設見学、学食体験の無料ランチ付



学生インストラクターが参加者をエスコートします。いろんな話を聞いてみてくださいね。

入試対策勉強会もあります。詳細、申込はこちらから



新任教職員紹介



4年生担当 本橋 悠太

1年生担当 加藤 恭史

1年生担当 淡路 知樹

学務部募集担当 霜鳥 竜太

学務部募集担当 米原 由利恵

学務部総務担当 亀井 ちひろ

入試情報

一級自動車工学科、自動車整備科共に**若干名募集人数枠の空きがあります。先着順**となりますので、横浜校を検討されている方は、ご連絡ください。

24時間入力OKの「HPお問い合わせ」よりお知らせください。一番下のお問い合わせ欄に「4月入学希望」と入力してください。横浜校から連絡致します。

